

平成20年度事業報告

財団法人神戸大学六甲台後援会の平成20年度（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、平成21年6月22日に開催されました理事会及び評議員会で監査報告を含めて報告・承認されたところですが、ステークホルダーの皆様方に当財団の活動内容をご理解いただきたく、ホームページ上で、①学术交流の促進、②学術成果の公開、③教育の充実、④学術基盤の整備、⑤学术交流施設の維持という、本財団が行う主要な事業の別に、その助成又は補助の概要について、財務諸表（貸借対照表と正味財産変動計算書）の要旨と併せて、ご報告させていただきます。

特に平成20年度からは、本財団創立50周年を迎えた昨年度に決定された「社会科学特別奨励賞」（略称「凌霜賞」）と社会科学系3学部相互履修科目開講支援にかかわる事業が具体的に開始されます。これらはいずれも神戸大学社会科学系部局における学部・大学院教育の充実に向けての本財団の新たな取組みを表すものであります。

1 学术交流の促進

(1) 海外研究活動支援（海外研究活動や海外学会派遣等への助成）・・・ 18,493千円

○経済学研究科 (3,599千円)

・久保広正教授（平成21年2月、ドイツ他）

目的：国際シンポジウム（日・欧・中）に関する打合せ

・岩壺健太郎准教授（平成21年2月～3月、韓国）

目的：S. Ghon Rhee教授との「ジャスダック市場における売買取引制度と市場流通性、株価」に関する共同研究

・石川雅紀教授（平成21年2月～3月、エストニア他）

目的：欧州各国の簡易包装に関する市場調査、リサイクル施設及び廃棄物管理政策の調査研究

・萩原泰治教授・奥西孝至教授（平成21年3月、中国）

目的：国際シンポジウム（日・欧・中）に関する打合せ

・奥西孝至教授（平成21年3月～4月、ベルギー）

目的：国際シンポジウム（日・欧・中）に関する打合せ

・久保広正教授（平成21年3月～4月、ベルギー）

目的：国際シンポジウム（日・欧・中）に関する打合せ

○経営学研究科 (5,916千円)

・松尾貴巳准教授（平成20年6月～21年3月、スウェーデン、スペイン）

目的：非営利組織の管理会計に関する研究打合せ、資料収集、レクチャー

・出井文男教授（平成20年7月、アメリカ）

目的：Western Economic Association International 83rd Annual Conference に出席・報告

・島田智明准教授（平成20年12月～21年1月、フランス）

目的：I C I S及びPre-I C I Sへの参加

- ・原 拓志教授（平成21年3月、イギリス）
目的：ECリスクヘッジ研究会への参加、安全マネジメントに関する研究打合せ及び資料収集
- ・馬 岩准教授（平成21年3月～5月、アメリカ）
目的：人的資源と経済成長に関する研究
- ・興三野禎倫准教授（平成21年3月～22年9月、スウェーデン、アメリカ）
目的：知的資本報告書に関する研究

○法学研究科 (4,919千円)

- ・中川丈久教授（平成20年8月、イギリス）
目的：ヨーロッパにおける経験的行政法学の動向調査
- ・嶋矢貴之准教授（平成20年9月～22年3月、ドイツ）
目的：多数関与者規制、汚職対策の国際比較研究
- ・シルヴィウ、ジョラ准教授（平成21年1月～2月、フィリピン）
目的：ヨーロッパ研究プログラムにてEU及ぶカリキュラム展開についての講義、並びにアジアにおけるODAの効果及び相関に関する研究

○国際協力研究科 (1,650千円)

- ・金子由芳教授（平成21年3月～22年1月、アメリカ）
目的：自利的な法形成をめぐる日本・米国・世銀の法整備支援の比較研究

○経済経営研究所 (2,409千円)

- ・後藤純一教授（平成20年9月、アメリカ）
目的：地域経済統合に関する調査研究
- ・下村研一教授（平成20年9月～12月、アメリカ）
目的：不完全競争の理論と実験に関する共同研究

(2) 学会・シンポジウム等開催支援（国内学会・国際学会・シンポジウム・フォーラム

- ・セミナー・ワークショップ等開催への助成）・・・・・・・・・・1,274千円

○経済学研究科 (100千円)

- ・神戸大学（経済学研究科・経済経営研究所）・漢陽大学校・経済金融大学校（経済研究所）第6回共同研究発表会、平成20年6月9日～10日（参加者数50名）
テーマ：Economic Integration & Financial Challenges in East Asia

○経営学研究科 (894千円)

- ・第62回ワークショップ（平成20年6月22日、参加者数92名）
テーマ：非正規労働者の活用と人材ポートフォリオ
- ・第63回ワークショップ（平成20年9月28日、参加者数68名）
テーマ：「ビジネス三国志」に学ぶ：市場の潜在性のとらえ方
- ・第65回ワークショップ（平成21年3月8日、参加者数63名）
テーマ：技術マネジメントの新潮流
- ・第19回シンポジウム（平成20年12月7日、参加者数176名）
テーマ：「ビジネス変革と変革型リーダーシップ―『基軸は人』を貫く経営」

- 経済経営研究所 (280千円)
 ・ R I E B政策研究ワークショップ (平成20年7月12日、参加者数105名)
 テーマ：両大戦期間日本における物価変動予想の形成

2 学術成果の公開

- (1) 学術研究成果刊行支援 (学術研究成果刊行への助成) 3, 050千円
 ○経済学研究科 (1, 200千円)
 ・前田祐子著『水洗トイレの産業史—20世紀日本の見えざるイノベーション—』
 名古屋大学出版会
 ○国際協力研究科 (1, 850千円)
 ・アレキサンダー、ロニー著『ポーポキ、友情って何色?』エピック
 ・小川啓一・野村真作著『教育統計学【基礎編】』学文社
 ・木村 幹著『近代韓国のナショナリズム』ナカニシヤ出版
- (2) 海外学術雑誌投稿支援 (海外学術雑誌投稿への助成) 190千円
 ○経営学研究科 (190千円)
 ・教員の研究論文海外投稿支援 (2名)
 原田 勉教授、松島法明准教授
- (3) その他 3, 751千円
 ・中山正實画伯作品デジタル化作業支援 (3, 751千円)

3 教育の充実

- (1) 社会科学特別奨励賞 10, 472千円
 (学部学生と大学院学生 (博士課程前期課程等) の成績最優秀者への奨学金支給)
 ・学部2年生：萩野宏喜 (経済)、幡生はるか (経営)、山下友美 (法)
 ・学部3年生：田辺晃悠 (経済)、富永真梨子 (経営)、大場明香 (法)
 ・学部4年生：川口孝彦 (経済)、坂本 怜 (経営)、谷中志帆 (法)
 ・博士課程前期課程1年：岡崎 拓 (経済)、Pongtanalert Kritinee (経営)、
 関 智弘 (法)、入谷聡子 (国協)
 ・博士課程前期課程2年：沈 連姫 (経済)、佐野宏樹 (経営)、永井俊輔 (国協)
 ・専門職学位課程3L：長谷川千鶴 (法)
- (2) 社会科学特別奨励賞 2, 415千円
 (大学院学生 (博士課程後期課程) の海外研究活動支援)
 経済学研究科：岩佐和道、Fukushima Marcelo
 経営学研究科：松浦総一、宮本琢哉、稲村由美、瓜生原葉子
 法学研究科：八島健一郎
 国際協力研究科：岸田絵美、鶴見直人
- (3) 相互履修科目開講支援 1, 095千円
 他学部学生向け増設専門講義科目
 経済学部：エッセンシャル・ミクロ経済学、エッセンシャル・マクロ経済学
 経営学部：エッセンシャル経営学、エッセンシャル会計学

法学部： エッセンシャル民法、エッセンシャル商法

(4) 田崎奨学基金による奨学金支給（3名）・・・・・・・・・・・・・・ 300千円

国際協力研究科博士課程前期課程：稲垣英希子

国際協力研究科博士課程後期課程：内山直子、森口 舞

(5) 大学院学生に対する支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,467千円

○経済学研究科 (549千円)

・久研究奨学基金による海外研究活動支援（1名）

経済学研究科：村山 悠

○法学研究科

・大学院学生の海外研究活動支援（2名） (650千円)

法学研究科：金 海英、鄒 森

・エクスターンシップ実施支援（63名） (1,268千円)

4 学術基盤の整備

・平成18年度は該当事業なし

5 学術交流施設の維持

(1) 学術交流施設維持支援（学術交流施設の維持・管理等への補助）・・ 5,144千円

・「ロイ・スミス館」の老朽化箇所に対する修理の実施 (3,812千円)